



京まなび News Letter

京都府教育委員会事務局生涯学習部

京まなびパスポートで学びの自分史をつくりませんか？

講演会、博物館、ボランティア...行っただけではもったいない！ まなびの記録はあなたの一生の宝物

①「京まなびパスポート」を入手する

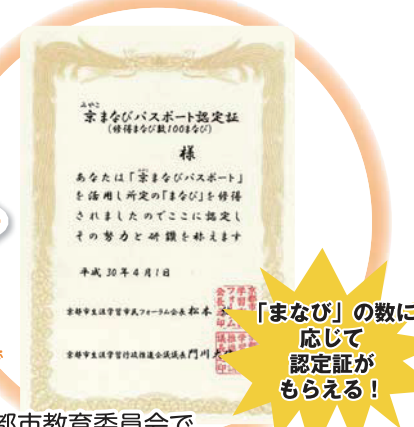


② 学びを記録する

講座を受講したり、ボランティア活動などを行い、学習・活動の内容や感想などを記録しましょう。



③ 認定書をもらう



「まなび」の数に応じて認定証がもらえる！

京都市教育委員会で無料配布(郵送可)しています。お問い合わせは生涯学習部まで。HPからもダウンロードできます。

京まなびパスポート 検索
(<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000084338.html>)

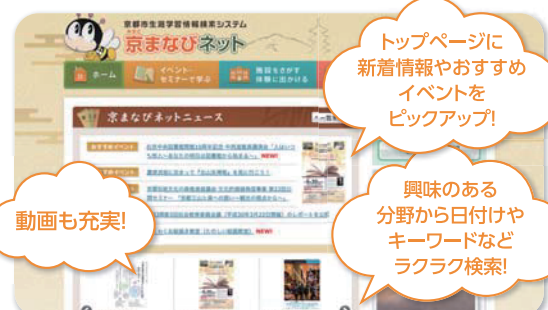
京まなびネット

～新しいことはじめませんか？～

京都市生涯学習情報検索システム「京まなびネット」は、市民の皆さんの学びをサポートする情報満載のサイトです。イベント、講座、展示会のお知らせやボランティア等の募集情報のほか、博物館や運動場などの施設情報、生涯学習団体の活動情報を簡単に検索できます。イベント情報もぜひお寄せください。

あなたにぴったりのまなびを見つけてね！
<http://miyakomanabi.jp>

京まなび 検索



トップページに新着情報やおすすめイベントをピックアップ！

興味のある分野から日付けやキーワードなどラクラク検索！

動画も充実！

「京都メディア懇話会」ってご存知ですか？

～京のメディアリテラシー侃々諤々～

高度情報社会です。メディアや情報についての心得、心構えが求められる時代といえます。「京都メディア懇話会」は、地元京都を基盤とする新聞やテレビなどのメディア関係者、メディア研究者、メディアに関心を持つ一般市民、学生らがテーブルを囲み、時々の話題をテーマに自由に語りあう場です。毎回、講師を招き、月例研究会を公開で行っています。気軽にご参加ください。

これまでのテーマ

- ・「『京都観光』報道の切り口」
- ・「情報公開制度を駆使した本格的な調査報道」
- ・「アメリカの放送の過去、現在、未来」
- ・「選挙報道の現場で思うこと～地方紙記者として」
- ・「原爆と細菌戦～京都の軍事研究資料を探って」などの幅広いテーマを扱っています。



月例研究会

開催日：毎月第4木曜日 午後6時半～(3, 8, 12月は休会)

会場：同志社大学今出川キャンパス「寒梅館」6階大会議室

参加：無料、どなたでも参加できます。

詳細はホームページをご覧ください。 京都メディア懇話会 検索

連絡先：メールアドレス twatanab@oak.ocn.ne.jp (会長：渡辺 武達 同志社大学名誉教授)

京都市社会教育委員のコラム

まなびいのつぼ

情報の大海原を生きる

京都市社会教育委員会委員長 齊藤 修 氏(京都新聞社 総合アドバイザー)



齊藤 修 議長プロフィール

京都市出身。立命館大学卒業後、京都新聞社に入社。編集局長などを経て主筆、編集本部長として言論・報道部門を統括。平成20年に京都新聞社代表取締役社長に就任、22年から同社相談役、京都新聞ホールディングス相談役、同顧問。30年から現職。また、京都のメディア関係者と市民がメディアのあり方について忌憚なく意見交換する場である「京都メディア懇話会」においても理事長として活躍中。平成17年7月から京都市社会教育委員、29年7月から議長を務める。

わたしたちはメディアの情報をもとに、自分が今、どのような世界に暮らしているかを知り、いかに行動すべきかを判断しています。少しおかげさですが、日々の情報から常に、自分なりの世界観をつくっているのです。

これまで、おもに情報を提供してきたのは新聞、テレビなどマスメディアでした。今は、それがインターネット、ソーシャルメディアなど新しいメディアへ代わりつつあります。

新しいメディアは、だれもが手軽に受信できることから、情報量が爆発的にふくれあがっています。それにともない真偽不明の情報が増え、まさに、玉石混交の「情報の大海原」となっています。虚偽の情報では世界観がゆがんでしまいます。しかし、この「情報の大海原」から信頼できる情報を選び出すのはなかなか困難です。

それなら、これまでどおり、情報の裏づけを取るなど「真実の追求」を信条とするマスメディア情報に頼ればいいようなものですが、これとて「誤報」と全く無縁というわけではありません。

また、マスメディアがいうところの「真実」も、記者が自分の視点で「現実」を切り取った情報ですから、別の記者なら、「真実」はまた違ってくるかもしれない。それに、報じられた情報のかげに、報じられない大切な情報がかくされていることだってありうるのです。

なんともやっかいな、しかし、暮らしに欠かせないこの「情報の大海原」を、では、いかに渡っていけばいいのでしょうか。

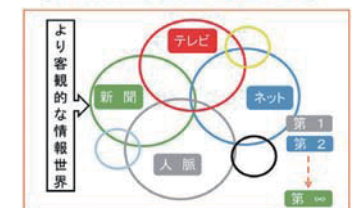
オバマ米大統領の時代に報道官を務めたJ・アーネストさんの情報の扱い方が参考になります。

す。報道官は、世界からホワイトハウスに集まる記者の厳しい質問に答えねばなりません。彼の一言が世界を揺るがすかもしれない。そこでは情報が命なのです。

彼は、朝一番に「ネット」で「最新の情報」を集める。次に「新聞」ウォールストリートジャーナル、ニューヨークタイムズ、ワシントンポストの1面記事の扱いに目を通し各紙の「価値判断」を確認する。さらに「直接」に各分野の政府高官からメディアにはない「生の」情報と意見を聴く。そのうえで情報を整理し、自分なりの世界観をつくりあげて記者会見に臨む、というのです。

要は①情報を鵜呑みにせず②複数の情報源によって情報の精度と価値判断をたしかめ③他人の情報や意見に耳を傾け④自らの頭で整理する。まさに、最近注目の「メディアリテラシー」の極意といえそうです。

多メディアで情報社会を生きる



※「社会教育委員」とは？

社会教育法に基づき、生涯学習の諸計画の立案をはじめ、家庭・地域の教育力の向上や、京都の豊かな学習資源の活用方策など生涯学習全般に関し、教育委員会に助言を行います。(現在17名)

委員からのメッセージ

白か黒か。敵か味方か。右か左か... 2つの本質を横に置いて、1つは必ず本質論をぶつけよう。そんな二項対立の議論が幅を利かせている。しかし、ひとつの「出来事」でも、立場の違いによって、異なる「真実」が現れる。白と黒の間に広がる灰色グラデーションは無限に近い。異論に身を使っている寛容さを大切にしてほしい。 齊藤 修

「京(みやこ)まなびいニュースレター」の内容についてのお問合せ先

京都市教育委員会事務局生涯学習部(生涯学習推進担当)

京都市中京区富小路通六角下がる骨屋之町549(元生祥小学校)

TEL:075-251-0410 FAX:075-213-4650 メールアドレス:shogaigaku@edu.city.kyoto.jp

京まなびいニュースレター第18号 平成30年8月発行

